資料４

阪　南　市

子ども・子育て支援事業計画

策定のためのアンケート調査

【結果概要】

平成３１年４月

阪南市

目　　次

[Ⅰ．調査の概要 1](#_Toc4558803)

[１　調査の目的 1](#_Toc4558804)

[２　調査設計 1](#_Toc4558805)

[３　回収結果 1](#_Toc4558806)

[４　報告書の見方 1](#_Toc4558807)

[Ⅱ．就学前児童調査結果 2](#_Toc4558808)

[１　ご家族の構成や保護者の働いている状況などについて 2](#_Toc4558809)

[２　平日（月曜日から金曜日）に、定期的に利用している幼稚園や保育所などについて 5](#_Toc4558810)

[３　病気になった時の対応について 8](#_Toc4558811)

[４　平日（月曜日から金曜日）に、定期的に利用させたい、または、保護者が定期的に利用したいと考える施設やサービスについて 10](#_Toc4558812)

[５　育児休業など、仕事と子育ての両立について 16](#_Toc4558813)

[６　市役所などへの要望について 17](#_Toc4558814)

[７　子育てを支援する生活環境の整備や子どもの安全の確保について 20](#_Toc4558815)

[８　子育てに対する意識について 21](#_Toc4558816)

[Ⅲ．就学児童調査結果 26](#_Toc4558817)

[１　ご家族の構成や保護者の働いている状況などについて 26](#_Toc4558818)

[２　放課後児童クラブ（留守家庭児童会）の利用について 30](#_Toc4558819)

[３　病気になった時の対応や、不定期な一時預かりについて 33](#_Toc4558820)

[４　市役所などへの要望について 35](#_Toc4558821)

[５　子育てを支援する生活環境の整備や子どもの安全の確保について 38](#_Toc4558822)

[６　子育てに対する意識について 39](#_Toc4558823)

[７　お子さんの状況などについて 45](#_Toc4558824)

# Ⅰ．調査の概要

## １　調査の目的

本調査は、第２期阪南市子ども・子育て支援事業計画を策定するにあたり、本市における子育て支援に関するご意見等を把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的に実施しました。

## ２　調査設計

●調査対象者

就学前児童：平成31年１月現在、阪南市に住んでいる就学前児童のいる世帯を無作為　に抽出

就学児童：平成31年１月現在、阪南市に住んでいる小学１年生から３年生までの１組の児童の保護者

●調査期間：平成31年２月８日～２月22日

●調査方法：

　就学前児童：郵送配布・郵送回収による郵送調査法

就学児童　:各小学校を通じて、配布・回収

## ３　回収結果

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 調査票 | 調査対象者（配布数） | 有効回収数 | 有効回収率 |
| 就学前児童 | 1,400 | 597 | 42.6％ |
| 就学児童 | 680 | 474 | 69.7％ |

## ４　報告書の見方

●回答結果の割合「％」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第２位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から１つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0％にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。

●複数回答（複数の選択肢から２つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0％を超える場合があります。

●図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。

●図表中の「Ｎ（number of case）」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。

●本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。

# Ⅱ．就学前児童調査結果

## １　ご家族の構成や保護者の働いている状況などについて

#### 問４　封筒のあて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。また、２人以上　　いらっしゃる場合、末子の年齢（平成31年１月１日現在）も（　）内にご記入ください。

子どもの人数について、「２人」が47.9％と最も高く、次いで「１人」が30.0％、「３人」が17.6％となっています。

末子の年齢について、「１歳」が14.8％と最も高く、次いで「２歳」「４歳」が14.6％、「５歳」が13.6％となっています。

■子供の人数　　　　　　　　　　　　　　　　■末子の年齢



#### 問６　差し支えなければ、昨年１年間の世帯全体の収入についてお答えください。（１つに○）

昨年１年間の世帯全体の収入について、「500～700万円未満」が22.1％と最も高く、次いで「400～500万円未満」が15.7％、「350～400万円未満」が11.9％となっています。



#### 問10　封筒のあて名のお子さんの子育てや教育を主に行っている方はどなたですか。選択肢はあて名のお子さんからみた関係です。（１つに○）

子育てや教育を主に行っている人について、「父母ともに」が53.3％と最も高く、次いで「主に母親」が44.7％、「主に祖父母」が0.7％となっています。前回調査と比較すると大きな差はみられません。



#### 問12　気軽に相談できる人や場所などについてお答えください。（当てはまるものすべてに○）

気軽に相談できる人や場所などについて、「配偶者」が84.9％と最も高く、次いで「ご自身や配偶者の親、親せき、（同居している）家族」が79.2％、「友人や知人」が72.4％となっています。前回調査と比較すると大きな差はみられません。



#### 問14　父親・母親それぞれの現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）について、「１～５」の中からお選びください。（それぞれ１つに○）

就労形態について、［父親］では「就労している（フルタイム）」が88.9％と大半を占めています。前回調査と比較すると大きな差はみられません。［母親］では「現在就労していない」が38.9％と最も高く、次いで「就労している（パートタイム、アルバイト等）」が23.5％となっています。前回調査と比較すると「現在就労していない」が9.5ポイント低くなっています。



## ２　平日（月曜日から金曜日）に、定期的に利用している幼稚園や保育所などについて

#### 問15　平日（月曜日から金曜日）に、幼稚園や保育所などの子どもを預かる施設やサービスを「定期的に」利用されていますか。（１つに○）

平日の幼稚園や保育園等の利用について、「利用している」が58.3％、「利用していない」が41.2％となっています。前回調査と比較すると「利用している」が18.5ポイント低くなっています。



問15で「２．利用していない」を選ばれた方にうかがいます。

#### 問15-１　幼稚園や保育所などの施設やサービスを利用していない理由は何ですか。 （当てはまるものすべてに○）

幼稚園や保育園等を利用していない理由について、「ご自身や配偶者が子どもの面倒をみているため、利用する必要がない」が57.3％と最も高く、次いで「子どもがまだ小さいため（　）歳くらいになったら利用しようと考えている」が48.8％となっています。前回調査と比較すると「子どもがまだ小さいため（　）歳くらいになったら利用しようと考えている」が10.0ポイント高くなっています。



問15で「１．利用している」を選ばれた方にうかがいます。

#### 問15-２　封筒のあて名のお子さんは、現在、年間を通じた平日にどのような施設やサービスを定期的に利用していますか。（当てはまるものすべてに○）

平日に定期的に利用している施設やサービスについて、「認定こども園」が41.7％と最も高く、次いで「幼稚園」が29.3％、「認可保育所」が18.7％となっています。前回調査と比較すると「認定こども園」が33.8ポイント高くなっている一方、「幼稚園」が15.1ポイントと低くなっています。



問15で「１．利用している」を選ばれた方にうかがいます。

#### 問15-５　幼稚園や保育所などの施設やサービスを利用されている理由は何ですか。 （当てはまるものすべてに○）

幼稚園や保育所などの施設やサービスを利用している理由について、「保護者が働いている」が63.8％と最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」が62.4％、「保護者に病気や障がいがある」が1.4％となっています。前回調査と比較すると「保護者が働いている」が18.1ポイント高くなっています。



## ３　病気になった時の対応について

平日に定期的に幼稚園や保育所などを利用していると答えた方（問15で「１」を選ばれた方）に、封筒のあて名のお子さんが病気になった時の対応についてうかがいます。

#### 問16　この１年間に、封筒のあて名のお子さんが病気やけがで、幼稚園や保育所などの施設や　サービスを利用できなかったことはありますか。（１つに○）

お子さんの病気やけがで幼稚園や保育所などの施設やサービスを利用できなかったことの有無について、「あった」が79.3％、「なかった」が19.3％となっています。前回調査と比較すると大きな差はみられません。



問16で「１．あった」を選ばれた方にうかがいます。

#### 問16-１　この１年間で、封筒のあて名のお子さんが病気で幼稚園や保育所などの施設やサービスを利用できなかった場合の対処方法をお答えください。（当てはまるものすべてに○）

お子さんの病気の際の対処方法について、「母親が仕事を休んだ」が67.0％と最も高く、次いで「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった（同居している場合も含む）」が38.0％、「働いていない母親か父親が子どもをみた」が21.7％となっています。前回調査と比較すると「母親が仕事を休んだ」が16.7ポイント高くなっています。一方、「働いていない母親か父親が子どもをみた」が13.6ポイント低くなっています。



問16-１で「１」「２」の両方またはどちらかを選ばれた、子どもの病気のため仕事を休んだ方にうかがいます。

#### 問16-２　その時に「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」と思われましたか。（１つに○） なお、病気の子どものための保育施設などの利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の診察を受け、診断書を施設に提出するなどの手続きが必要になる場合があります。

できれば病気の子どものための保育施設などを利用したいと思ったかについて、「利用したいと思わない」が60.1％、「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」が39.4％となっています。前回調査と比較すると大きな差はみられません。



## ４　平日（月曜日から金曜日）に、定期的に利用させたい、または、保護者が定期的に利用したいと考える施設やサービスについて

#### 問17　現在、利用している、利用していないにかかわらず、平日に「定期的に」利用したいと　考える主な教育・保育事業をお答えください。現在のお子さんの年齢から５歳まで、年齢ごとに希望する事業を選択肢から１つずつ選び、回答欄に番号をご記入ください。 また、現在国で計画されている「幼児教育・保育無償化」が実現した場合に利用したい事業についても、無償化の内容をお読みになった上でご回答ください。

①今後の希望（無償化しなかった場合）

今後利用したいと考える主な教育・保育事業について、[０歳児][１歳児]では「特になし」、[２歳児][３歳児][４歳児][５歳児]では「認定こども園」が最も高く、次いで[０歳児][１歳児]では「認定こども園」、[２歳児]では「特になし」、[３歳児][４歳児][５歳児]では「幼稚園」が高くなっています。









②無償化した場合の希望

無償化した場合に利用したいと考える主な教育・保育事業について、[０歳児]では「特になし」、[１歳児][２歳児][３歳児][４歳児][５歳児]では「認定こども園」が最も高く、次いで[０歳児]では「認定こども園」、[１歳児][２歳児]では「特になし」、[３歳児][４歳児][５歳児]では「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」が高くなっています。









③今後の希望の対比（無償化しなかった場合と無償化した場合）

今後利用したいと考える主な教育・保育事業について、無償化しなかった場合と無償化した場合を対比してみると、いずれの年齢においても無償化した場合の方が「認定こども園」が高くなっており、反対に[０歳児][１歳児][２歳児]では、「事業所内保育」の割合が減少しています。

また、[３歳児][４歳児][５歳児]では、「幼稚園」の割合が減少し、「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」の割合が高くなっています。

[２歳児]では、無償化した場合で「認可保育所」が2.3ポイント高くなっています。他の年代では大きな差はみられません。







## ５　育児休業など、仕事と子育ての両立について

#### 問20　封筒のあて名のお子さんが生まれた時に、父親、母親は育児休業を取りましたか。 （それぞれ１つに○）

育児休業の取得について、［父親］では「育児休業を取らずに働いた」が85.6％と最も高く、次いで「取得した（取得中である）」が5.2％、「働いていなかった」が1.2％となっています。前回調査と比較すると大きな差はみられません。［母親］では「働いていなかった」が50.1％と最も高く、次いで「取得した（取得中である）」が34.8％、「育児休業を取らずに離職した」が10.1％となっています。前回調査と比較すると「取得した（取得中である）」が14.0ポイント高くなっています。



## ６　市役所などへの要望について

#### 問31　阪南市における子育て環境や子育て支援への満足度についてお答えください。（１つに○）

阪南市における子育て環境や子育て支援への満足度について、「どちらともいえない」が42.4％と最も高く、次いで「やや満足」が19.9％、「やや不満」が15.4％となっています。前回調査と比較すると大きな差はみられません。



#### 問32　阪南市に対して、あなたの子育て経験などから、どのような子育て支援サービスを充実　してほしいですか。（当てはまるものすべてに○）

充実してほしい子育て支援サービスについて、「小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制を整備する」が71.4％と最も高く、次いで「親子が安心して集まれる公園などの屋外の施設を整備する」が70.5％、「育児休業給付、児童手当、扶養控除の拡充などの子育て世帯への経済的援助の拡充」が52.9％となっています。前回調査と比較すると大きな差はみられません。



#### 問33　あなたは阪南市に住み続けたいと思いますか。（１つに○）

居住意向について、「住み続けたい」が45.2％と最も高く、次いで「当分の間は住み続けたい」が27.0％、「わからない」が11.1％となっています。



問33で「１」または「２」を選ばれた方にうかがいます。

#### 問33-１　住み続けたいと思う理由は何ですか。（当てはまるものすべてに○）

住み続けたいと思う理由について、「親類・知人が多いから」が60.3％と最も高く、次いで「自然環境が良いから」が45.2％、「病院や買い物など日常生活が便利だから」が19.7％となっています。



## ７　子育てを支援する生活環境の整備や子どもの安全の確保について

#### 問36　お住まいの地域における子どもの遊び場に関して満足していますか。（１つに○）

子どもの遊び場の満足度について、「満足していない」が52.8％と最も高く、次いで「どちらとも思わない」が25.1％、「満足している」が14.2％となっています。前回調査と比較すると大きな差はみられません。



#### 問38　お住まいの地域の子どもの遊び場について日頃感じることは何ですか。 （当てはまるものすべてに○）

子どもの遊び場について日頃感じることについて、「雨の日に遊べる場所がない」が69.2％と最も高く、次いで「遊具などの種類が充実していない」が51.6％、「近くに遊び場がない」が46.7％となっています。前回調査と比較すると「近くに遊び場がない」が10.4ポイント、「遊具などの設備が古くて危険である」が10.1ポイント高くなっています。



## ８　子育てに対する意識について

#### 問41　ご自身にとって子育てを楽しいと感じることが多いと思いますか。それともつらいと　　感じることが多いと思いますか。（１つに○）

子育てについて、「楽しいと感じることの方が多い」が66.7％と最も高く、次いで「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」が22.8％、「わからない」が4.7％となっています。前回調査と比較すると大きな差はみられません。



問41で「１．楽しいと感じることの方が多い」を選ばれた方にうかがいます。

#### 問41-１　子育てをする中で、どのような支援・対策が有効と感じていますか。（３つまで○）

有効と感じる子育て支援・対策について、「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」が37.7％と最も高く、次いで「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」が34.9％、「保育サービスの充実」が31.9％となっています。前回調査と比較すると「保育サービスの充実」が7.0ポイント、「地域における子どもの活動拠点の充実（児童館など）」が6.8ポイント高くなっています。



問41で「２」または「３」を選ばれた、つらいと感じる方にうかがいます。

#### 問41-２　あなたにとって子育てのつらさを解消するために必要な支援・対策は何ですか。 （３つまで○）

子育てのつらさを解消するために必要な支援・対策について、「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」が45.1％と最も高く、次いで「地域における子育て支援の充実（一時預かり、育児相談など）」が32.7％、「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」が27.8％となっています。前回調査と比較すると「地域における子どもの活動拠点の充実（児童館など）」が9.0ポイント高くなっています。



#### 問42　子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。 （それぞれ当てはまるものすべてに○）

（１）子どもに関すること

子どもに関することについて、「食事や栄養に関すること」が33.2％と最も高く、次いで「子どもの教育に関すること」が31.5％、「病気や発育発達に関すること」が27.1％となっています。前回調査と比較すると大きな差はみられません。



（２）ご自身に関すること

ご自身に関することについて、「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」が35.5％と最も高く、次いで「子育てにかかる出費がかさむこと」が30.7％、「子育てによる身体の疲れが大きいこと」が25.5％となっています。前回調査と比較すると大きな差はみられません。



#### 問43　ご自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じますか。（１つに○）

ご自身の子育てが、地域の人に支えられているかについて、「感じる」が54.8％、「感じない」が43.7％となっています。前回調査と比較すると大きな差はみられません。



#### 問44　封筒のあて名のお子さんの父親と母親が最後に通われた学校を教えてください。 （それぞれ１つに○）

父親と母親が最後に通われた学校について、［父親］では「大学・短期大学卒業」が43.2％と最も高く、次いで「高等学校卒業」が29.8％、「その他の教育機関卒業」が13.7％となっています。［母親］では「大学・短期大学卒業」が51.4％と最も高く、次いで「高等学校卒業」が23.6％、「その他の教育機関卒業」が18.6％となっています。



#### 問45　お子さんが将来小学校に入学するにあたって特に心配なことは何ですか。（１つに○）

将来小学校に入学するにあたって特に心配なことについて、「友人関係に関すること」が41.4％と最も高く、次いで「特にない」が17.4％、「勉強に関すること」が14.1％となっています。



#### 問46　お子さんに小学校に入るまでに特に育ってほしい姿は何ですか。（３つまで○）

小学校に入るまでに特に育ってほしい姿について、「健康な心と体」が78.9％と最も高く、次いで「豊かな感性と表現」が38.9％、「協同性」が38.0％となっています。



# Ⅲ．就学児童調査結果

## １　ご家族の構成や保護者の働いている状況などについて

#### 問４　お子さんは何人いらっしゃいますか。また、２人以上いらっしゃる場合、末子の年齢　　（平成31年１月１日現在）も（　）内にご記入ください。

子どもの人数について、「２人」が49.2％と最も高く、次いで「３人」が26.2％、「１人」が15.2％となっています。末子の年齢について「７歳」が18.7％と最も高く、次いで「８歳」が16.1％、「９歳」が14.8％となっています。



#### 問６　差し支えなければ、昨年１年間の世帯全体の収入についてお答えください。（１つに○）

昨年１年間の世帯全体の収入について、「500～700万円未満」が24.1％と最も高く、次いで「400～500万円未満」が13.9％、「700～1,000万円未満」が10.3％となっています。



#### 問８　お子さんの子育てや教育を主に行っている方はどなたですか。選択肢はお子さんからみた関係です。（１つに○）

子育てや教育を主に行っている人について、「主に母親」が47.5％と最も高く、次いで「父母ともに」が44.3％、「主に祖父母」が2.3％となっています。前回調査と比較すると「父母ともに」が10.9ポイント低くなっています。



#### 問10　気軽に相談できる人や場所などについてお答えください。（当てはまるものすべてに○）

気軽に相談できる人や場所などについて、「ご自身や配偶者の親、親せき、（同居している）家族」が73.0％と最も高く、次いで「配偶者」「友人や知人」が70.9％となっています。前回調査と比較すると大きな差はみられません。



#### 問12　父親・母親それぞれの現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）について、「１～５」の中からお選びください。（それぞれ１つに○）

就労形態について、［父親］では「就労している（フルタイム）」が83.5％と大半を占めています。前回調査と比較すると大きな差はみられません。［母親］では「就労している（パートタイム、アルバイト等）」が42.0％と最も高く、次いで「就労している（フルタイム）」が24.5％となっています。前回調査と比較すると大きな差はみられません。



## ２　放課後児童クラブ（留守家庭児童会）の利用について

#### 問13　平日（月曜日から金曜日）および土曜日に、現在、放課後児童クラブ（留守家庭児童会）を利用されていますか。（１つに○）

放課後児童クラブ（留守家庭児童会）の利用について、「利用していない」が68.8％と最も高く、次いで「利用している」が31.0％となっています。前回調査と比較すると大きな差はみられません。



問13で「１．利用している」を選ばれた方にうかがいます。

#### 問13-１　現在、利用している放課後児童クラブ（留守家庭児童会）について、１週当たりの　　利用日数と１日当たりの利用時間をお答えください。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。（　）内に数字（時間は「18：00」のように24時間制）をご記入ください。

１週当たりの利用日数について、[現在]では「５日」が53.1％と最も高く、次いで「４日」が19.7％となっています。[希望]では「５日」が23.1％と最も高く、次いで「４日」が6.1％となっています。前回調査と比較すると[現在][希望]ともに大きな差はみられません。１日当たりの時間について、[現在]では「３時間未満」が49.0％と最も高く、次いで「３時間」が24.5％となっています。[希望]では「３時間未満」が17.0％と最も高く、次いで「３時間」が9.5％となっています。前回調査と比較すると[現在][希望]ともに大きな差はみられません。

■１週当たり日数

■１日当たり時間

問13で「１．利用している」を選ばれた方にうかがいます。

#### 問13-５　現在通っている放課後児童クラブ（留守家庭児童会）にどのようなことを希望しますか。（当てはまるものすべてに○）

放課後児童クラブ（留守家庭児童会）にどのようなことを希望するかについて、「特になし」が50.3％と最も高く、次いで「指導内容を工夫する」が17.0％となっています。前回調査と比較すると「朝の利用時間を延長する」が10.0ポイント低くなっています。



問13で「１．利用している」を選ばれた方にうかがいます。

#### 問13-６　小学４年生以降の放課後の過ごし方について、どのようなことを望みますか。 （当てはまるものすべてに○）

小学４年生以降の放課後の過ごし方で望むことについて、「放課後児童クラブ（留守家庭児童会）を利用したい」が43.5％と最も高く、次いで「スポーツクラブや学習塾などの習い事をさせたい」が38.8％となっています。前回調査と比較すると「放課後児童クラブ（留守家庭児童会）を利用したい」が13.0ポイント低く、「スポーツクラブや学習塾などの習い事をさせたい」が10.2ポイント高くなっています。



## ３　病気になった時の対応や、不定期な一時預かりについて

#### 問14　お子さんが病気になった時の対応についてうかがいます。この１年間に、お子さんが病気やけがで、小学校を休まなければならなかったことはありますか。（１つに○）

お子さんの病気やけがで幼稚園や保育所などの施設やサービスを利用できなかったことの有無について、「あった」が78.7％、「なかった」が18.1％となっています。前回調査と比較すると「あった」が14.3ポイント高くなっています。



問14で「１．あった」を選ばれた方にうかがいます。

#### 問14-１　この１年間で、お子さんが病気で小学校を休まなければならなかった場合の対処方法をお答えください。（当てはまるものすべてに○）

お子さんの病気の際の対処方法について、「母親が仕事を休んだ」が57.4％と最も高く、次いで「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった（同居している場合も含む）」が34.0％、「働いていない母親か父親が子どもをみた」が24.1％となっています。前回調査と比較すると「母親が仕事を休んだ」が11.2ポイント高くなっています。



問14-１で「１」「２」の両方またはどちらかを選ばれた、子どもの病気のため仕事を休んだ方にうかがいます。

#### 問14-２　その時に「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」と思われましたか。（１つに○） なお、病気の子どものための保育施設などの利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の診察を受け、診断書を施設に提出するなどの手続きが必要になる場合があります。

できれば病気の子どものための保育施設などを利用したいと思ったかについて、「利用したいと思わなかった」が78.5％、「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」が16.9％となっています。前回調査と比較すると大きな差はみられません。



## ４　市役所などへの要望について

#### 問20　阪南市における子育て環境や子育て支援への満足度についてお答えください。（１つに○）

阪南市における子育て環境や子育て支援への満足度について、「どちらともいえない」が47.3％と最も高く、次いで「やや満足」が15.6％、「やや不満」が14.1％となっています。



#### 問21　阪南市に対して、あなたの子育て経験などから、どのような子育て支援サービスを充実　してほしいですか。（当てはまるものすべてに○）

充実してほしい子育て支援サービスについて、「小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制を整備する」が57.2％と最も高く、次いで「親子が安心して集まれる公園などの屋外の施設を整備する」が53.4％、「育児休業給付、児童手当、扶養控除の拡充などの子育て世帯への経済的援助の拡充」が48.3％となっています。前回調査と比較すると大きな差はみられません。



#### 問22　あなたは阪南市に住み続けたいと思いますか。（１つに○）

居住意向について、「住み続けたい」が39.0％と最も高く、次いで「当分の間は住み続けたい」が28.5％、「わからない」が15.2％となっています。



問22で「１」または「２」を選ばれた方にうかがいます。

#### 問22-１　住み続けたいと思う理由は何ですか。（当てはまるものすべてに○）

住み続けたいと思う理由について、「親類・知人が多いから」が59.4％と最も高く、次いで「自然環境が良いから」が45.9％、「病院や買い物など日常生活が便利だから」が19.4％となっています。



## ５　子育てを支援する生活環境の整備や子どもの安全の確保について

#### 問28　お住まいの地域における子どもの遊び場に関して満足していますか。（１つに○）

子どもの遊び場の満足度について、「満足していない」が57.6％と最も高く、次いで「どちらとも思わない」が18.6％、「満足している」が15.2％となっています。前回調査と比較すると大きな差はみられません。



#### 問29　お住まいの地域の子どもの遊び場について日頃感じることは何ですか。 （当てはまるものすべてに○）

子どもの遊び場について日頃感じることについて、「雨の日に遊べる場所がない」が72.2％と最も高く、次いで「遊具などの種類が充実していない」が47.5％、「思い切り遊ぶための十分な広さがない」が43.5％となっています。前回調査と比較すると大きな差はみられません。



## ６　子育てに対する意識について

#### 問30　近所（お住まいの近く）で日常的にちょっとした子どもの話や世間話をする人はいますか。（１つに○）

子どもの話や世間話をする人の有無について、「いる」が73.0％、「いない」が25.3％となっています。前回調査と比較すると大きな差はみられません。



#### 問31　ご自身にとって子育てを楽しいと感じることが多いと思いますか。それともつらいと　　感じることが多いと思いますか。（１つに○）

子育てについて、「楽しいと感じることの方が多い」が61.8％と最も高く、次いで「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」が26.6％となっています。前回調査と比較すると大きな差はみられません。



問31で「１．楽しいと感じることの方が多い」を選ばれた方にうかがいます。

#### 問31-１　子育てをする中で、どのような支援・対策が有効と感じていますか。（３つまで○）

有効と感じる子育て支援・対策について、「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」が46.1％と最も高く、次いで「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」が41.6％、「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」が41.0％となっています。前回調査と比較すると大きな差はみられません。



問31で「２」または「３」を選ばれた、つらいと感じる方にうかがいます。

#### 問31-２　あなたにとって子育てのつらさを解消するために必要な支援・対策は何ですか。 （３つまで○）

子育てのつらさを解消するために必要な支援・対策について、「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」が41.2％と最も高く、次いで「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」が30.4％、「子どもの教育環境の充実」が27.7％となっています。前回調査と比較すると「子どもの教育環境の充実」が8.9ポイント高くなっています。



#### 問32　子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。 （それぞれ当てはまるものすべてに○）

（１）子どもに関すること

子どもに関することについて、「子どもの教育に関すること」が38.8％と最も高く、次いで「子どもの友だちづきあいに関すること」が37.3％、「特にない」が24.9％となっています。前回調査と比較すると大きな差はみられません。



（２）ご自身に関すること

ご自身に関することについて、「子育てにかかる出費がかさむこと」が35.9％と最も高く、次いで「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」が26.2％、「特にない」が25.1％となっています。前回調査と比較すると「子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと」が9.1ポイント低くなっています。



#### 問33　ご自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じますか。（１つに○）

ご自身の子育てが、地域の人に支えられているかについて、「感じる」が55.5％、「感じない」が42.4％となっています。前回調査と比較すると大きな差はみられません。



#### 問34　お子さんの父親と母親が最後に通われた学校を教えてください。（それぞれ１つに○）

父親と母親が最後に通われた学校について、［父親］では「大学・短期大学卒業」が36.7％と最も高く、次いで「高等学校卒業」が31.4％、「その他の教育機関卒業」が11.6％となっています。［母親］も同様に「大学・短期大学卒業」が44.3％と最も高く、次いで「高等学校卒業」が28.1％、「その他の教育機関卒業」が18.6％となっています。



## ７　お子さんの状況などについて

#### 問35　お子さんの学校での勉強の成績はどうですか。（１つに○）

子どもの学校での成績について、「普通」が38.2％と最も高く、次いで「まあまあ良好」が31.2％、「成績良好」が17.5％となっています。



#### 問36　お子さんの様子について、それぞれお答えください。（それぞれ１つに○）

子どもの様子について、[将来の希望を話すことができる]では「できる」が50.4％と最も高く、次いで「どちらかというとできる」が32.5％となっています。[自信を持って、行動したり人と関わることができる]では「どちらかというとできる」は49.2％と最も高く、次いで「できる」が27.6％となっています。[目標に向かって努力することができる]では「どちらかというとできる」は46.0％と最も高く、次いで「できる」が31.2％となっています。



#### 問37　あなたはお子さんの進学について、どこまで希望されていますか。（１つに○）

子どもの進学で、どこまでを希望しているかについて、「大学・短期大学」が59.5％と最も高く、次いで「わからない」が12.2％、「専門学校・高等専門学校」が10.8％となっています。



#### 問38　お子さまを学習塾や習い事に通わせていますか。（それぞれ１つに○）

子どもを学習塾や習い事に通わせているかについて、[学習塾]では「経済的な理由以外で通わせていない」が56.5％と最も高く、次いで「通わせている」が20.5％、「経済的な理由で通わせていない」が15.6％となっています。[習い事]では「通わせている」が81.2％と最も高く、次いで「経済的な理由以外で通わせていない」9.1％、「経済的な理由で通わせていない」7.8％となっています。

